

健康診断部のトピックス



健康診断部部长：宮田 健二

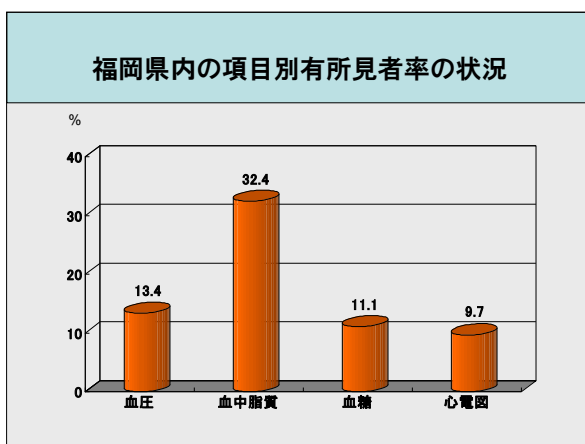
健康診断部は九州厚生年金病院が開院後まもなく設立され、すでに50年以上が経ちました。一貫して生活習慣病の予防や疾病の早期発見に努めてきました。健診者に現在の健康状態を知り、生活習慣を見直して、健康的で充実した生活を送っていただくことを目標としています。現在、常勤医師と二名の非常勤女性医師が、一人一人へきめ細かい判定を行っています (Fig. 1)。健診内容に関しては、当院ホームページ(<http://www.kyuko-hsp.jp/>)をご参照下さい。



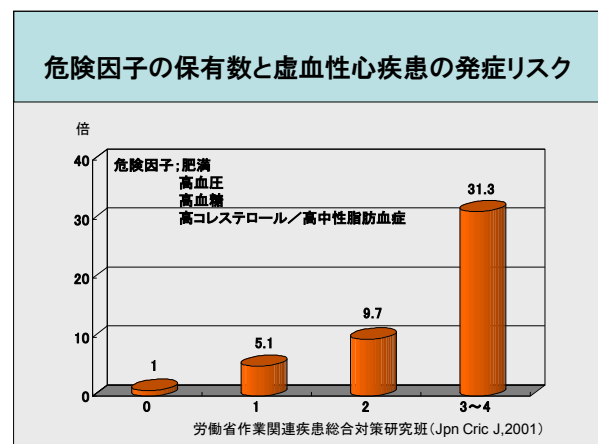
(Fig.1)

さて、福岡県における定期健康診断受診者のうち、有所見率は2007年以降50 %を超え、以後も増加の一步をたどっています。内容としては、生活習慣病に関連する、脂質異常が32.4 %、血圧が13.4 %、高血糖が11.1 %と有所見率上昇の主たる原因になっていると考えられます (Fig. 2)。

国の研究班が2001年に報告したものでは、肥満・高血圧・脂質異常・高血糖のうち1つを有する場合、10年間の虚血性心疾患の発症率は5.1倍、3つ以上を有する場合は、31.3倍と驚くべきものでした (Fig. 3)。



(Fig. 2)



(Fig. 3)

いうまでもなく、2008年から国が制度化した特定健診は、メタボリック症候群およびそれに準ずる者に対する心血管イベント発症の予防を目的としています。メタボリック症候群の病態は、過食・飲み過ぎ・運動不足・寝不足・ストレスなどを引き金とし、遺伝的素因・環境因子が修飾して全身の動脈硬化が進行し、心血管イベント・血液透析・失明・下肢切断・脳血管性認知症など終末疾患を生じると考えられています (Fig. 4)。

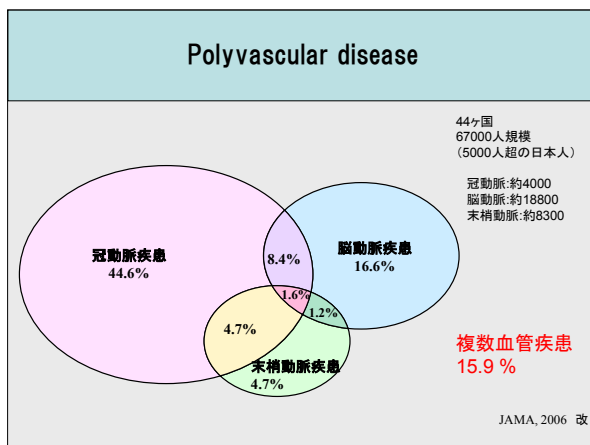
この、いわゆるメタボリックドミノにおいて、健診・特定保健指導が介入の最上流に位置し重要な役割を担っています。当健康診断部でも、人間ドック学会指針に準じ厳密に判定し、徹底して早期二次検診を勧めています。



(Fig. 4)

最後に、受診勧奨者、特に高リスク判定者は既に冠動脈疾患が進行している場合があります。2012年1月号で循環器内科トピックスとして記したように、冠動脈疾患・脳動脈疾患・末梢動脈疾患（下肢動脈・頸動脈・腎動脈）などの動脈硬化疾患は、

複数血管に合併することが報告され視野の広い診療と複数専門科の連携が必要となります (Fig. 5)。無症候性高リスク者の病診連携として、当院循環器内科を是非ご活用下さい。



(Fig. 5)

健康診断部部长：宮田 健二

